

『北阪昌人のラジオドラマ脚本入門セミナー』 レジューメ

7, 構成について②

(テキスト P 8 5 ~ P 1 0 2)

構成のチェックポイントは、人物、場所、時間が、明確であるか。

どのシーンにも、この3つの要素が描かれている必要があります。

ラジオドラマに合っている構成は、3拍子の、序破急。

序・・・ここでいきなりドラマを起こす。主人公の行動、心の動きがある。

破・・・主人公の葛藤。やりたいのにできない、好きなのに離れるなどを描く。

急・・・葛藤の末の選択。それがいいのか悪いのか、リスナーに考えさせる。

ラジオドラマの構成は、冒頭と、クライマックス、ラストの余韻に尽きます。

まず、ワクワクするはじまりか、そして、クライマックスでドキドキする葛藤が

あるか、最後は、主人公の未来が想像できる余韻、余白があるか。

クライマックスは、最も大きな出来事が起きたところではなく、

最も主人公が悩み、深く葛藤した場面であることを忘れずに。

サッカーのPK戦。蹴る瞬間も、蹴ったあとも、クライマックスではない。

蹴る寸前の葛藤している時間が、クライマックス。

課題4：10分間のラジオドラマ、構成してみよう！